

# 原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2007年11月26日 No.16

12・4  
行動

## 被爆者・支援者ら50人が大宣伝

日本原水協も加わる全国支援ネットは11月24日、日本被団協、東友会(東京)・しらさぎ会(埼玉)・友愛会(千葉)各被爆者団体とともに、原爆症認定行政の抜本改定を求める緊急100万人署名と12・4行動の宣伝を新宿西口で取り組みました。50人が参加し、1時間で188筆の署名、2479円の募金が寄せられました。

山本英典東京原告団長は、「東京ではすでに12人の原告が亡くなっている。裁判は、60年以上経っても放射能の被害は体を蝕んでいるということを、法廷の場で明らかにしていくたたい。世論で厚労省の態度を変えさせよう」と署名への協力を呼びかけました。日本被団協の田中熙巳事務局長は被爆体験を話し、「全国22都道府県で295人が裁判を行っている。安倍首相(当時)の指示で見直し検討会が開かれているが充分ではない」として12・4集会の成功を訴えました。北海道原爆



訴訟弁護団の肘井弁護士は、「来年1月結審、春には判決が出されようとしている。これまでの6地裁判決と同様の判決が出ることを確信している」と来春の判決勝利の決意を述べました。

## 世界大会代表団が初の交流会開催—山形・鶴岡市

世界大会に参加した代表団の初めての交流会が9日鶴岡市で行われました。きっかけは今年の平和行進に県内通し行進者として歩き続け、そのまま長崎の世界大会まで参加した池田道正さん(山大名誉教授)の一声。

この日は大会報告集の感想やその後の近況報告を出し合い、昼食を食べながら楽しく交流しました。ちょうど3ヵ月後の9日ということで「6・9行動」もみんなでとりくんだほか、「つるおか被爆者の会」の三浦恒祺会長が個展を開いている羽黒町まで出かけ親しく交流もしました。山形代表団は今年は8年ぶりに20人を越えましたが、この日は11人が県内から集まり、平和行進前の来春に今度は山形市で集まることを決めました。この20人から核廃絶と平和のためのネットワークをつくろうと大いに盛り上がりました。(山形県原水協事務局長・佐々木俊司)



写真は左から池田さん、そのとなり三浦さん

大阪原水協では、「緊急の訴え」もつけとめ、前年比5〜10%増を必ずと奮闘中です。前年5300本余の普及にたいし、ここ数日間まで到達4800本まで浮上。いずみ市民生協をはじめ、これから12月初旬にかけて一団体・地域あたり100本台の普及対象もいくつか広げてきています。「訴え」もつけとめ、例年の普及先、新たな対象へのお願い・確認の電話入れを強めています。「訴え」を篠浦理事長をはじめ、役員に増刷配布し意思統一。理事長は早速、出身の大坂教職員組合の共闘部長にお願ひしました。大教組は、すでに組織内に通達文書もおろしていますが、さらに広げてもらうよう徹底しています。

ちひろカレンダー  
前年比5〜10%増かならず!

12・4行動に全国・団体から参加を!

12:00 厚労省包囲、18:00 九段会館集会